北海道遺産だより

NPO 法人北海道遺産協議会
北海道遺産情報紙 Vol.17
2016 年 3 月 29 日発行

「北海道遺産だより Vol.17」をお届けします

今年度最後の北海道遺産だよりです。あっと言う間の 1 年間でしたね。
この数カ月の間に北海道遺産では様々な動きがありました。北海道遺産サミット、テレビ番組での特集、北海道遺産 navi のアップデート　などなど。
各方面で広く北海道遺産を知っていただく活動を展開しておりますので、その様子をお伝えします。

報告 1　北海道遺産サミットを開催しました

1 月 31 日（日）に平成 27 年度北海道遺産交流会議「北海道遺産サミット」を開催いたしました。

北海道遺産交流会議は、昨年までも遺産地域の皆様との交流を目的に開催して参りましたが、今年度から「サミット」と題しまして、遺産地域で活動されている活動団体の皆様はもちろんのこと、関係自治体の代表の方々にお集まりいただき、北海道遺産の保全・活用の推進とさらなる展開について意見交換していただく場として開催いたしました。

冒頭には、来賓としてご出席いただいた高橋はるみ北海道知事からサミット開催のご挨拶をいただきました。知事からは、北海道遺産を推進する活動をされている、地域団体、関係団体、支援企業への感謝の言葉をいただくとともに、道としても、2018 年に北海道命名 150 年という節目を迎えるにあたって、今後一層、北海道遺産の推進を図っていきたいとのお話をいただきました。

サミット前半の、「ほっかいどう遺産 WAON」寄附金感謝状贈呈セレモニーでは、イオン北海道株式会社・星野社長、マックスバリュ北海道株式会社・出戸社長から平成 27 年度分の寄附金目録を贈呈いただき、高橋知事、北海道遺産協議会・石森会長から感謝状を手渡しました。

また、ほっかいどう遺産 WAON 助成活動報告では、「小樽港北防波堤の歴史を学ぶ実行委員会」と「赤平コミュニティガイドクラブ TANtan」からご報告をいただきました。

活動報告後のイオン北海道株式会社・星野社長のご挨拶では、活動報告をいただいた２つの取組をはじめとする今年度の助成活動全体についての所感と、助成金を有効に活用してくださったことへのお礼、そして、今後も北海道遺産の取組に対して企業として様々な面から支援をしていきたいとのお言葉をいただきました。

→ 報告２につづく



▲イオン北海道株式会社星野社長へ感謝状を贈呈



▲マックスバリュ北海道株式会社出戸社長へ
感謝状を贈呈



▲出戸社長、星野社長、高橋知事、石森会長

報告 2 ―― 北海道遺産サミット　トークセッションの様子

サミット後半は、文化庁「日本遺産」の選定委員でもある、公益社団法人日本観光振興協会常務理事・総合研究所長・丁野氏、2015 年に世界遺産に登録された明治日本の産業革命遺産の登録活動に尽力された、株式会社島津興業代表取締役・島津氏、江差町照井町長、北海道教育大学函館校講師で北海道遺産将来構想検討委員会プロジェクトチームの池ノ上氏から、北海道遺産の今後の展開に向けて参考になる事例やご意見をお話いただきました。

◆話題提供①　丁野　朗　氏



今、地域のストーリー化が注目されています。日本遺産の選考基準でも地域資源をつないだストーリー化が求められており、地域が自分の歴史を振り返って誇りを取り戻し、自らの言葉で地域を語ることが必要だと考えています。そうすることで初めて外に向けて発信することができます。

北海道遺産全体が大きなストーリーと考えると、その中に 52 件のサブストーリーがあり、その１つ１つをクローズアップし、そこへいざなうストーリーを持つことが大事です。さらにそのストーリーに未来へのメッセージがあるか、未来と事業が見えているかも重要だと私は思っています。

◆話題提供②　島津　忠裕　氏



世界遺産登録には 16 年の歳月がかかりました。その中でも５年と言う時間をかけて日本政府がイコモス・ユネスコに提出する推薦書を作成しました。推薦書を作成する上での最大の成功のポイントは海外専門家の指導・助言でした。助言に従い、泣く泣く構成資産から外した地域資源もありますが、よりテーマの精緻化、構成資産の厳選が図れ、具体的で説得力のある推薦書になりました。

今後はシリアル・ノミネーション※ゆえの観光客の周遊の難しさを克服する手立てとして、地域を結ぶストーリーの強化を図りたいと思っています。

※複数の連続していない地域を含む遺産の推薦形態。

◆トークセッション　照井　誉之介　江差町長

江差町では、日本遺産への申請を視野に、歴史文化基本構想の策定を進めています。30 年後の江差町を考えた時、小手先の産業振興ではなく地域の文化や歴史、これまで培ってきた強みをのばすことを考えなければと思い取組んでいます。

自分は歴史と文化を大切にしている町に惚れました。日本全国にも江差町を知ってもらいファンになって足を運んでもらいたい。

◆プロジェクトチーム報告　池ノ上　真一　氏

北海道遺産将来構想検討員会では北海道遺産構想の次のステージをどう進めるべきか検討しています。

プロジェクトチームではこれまでの 15 年の活動を整理し、今後は、52 件をストーリーで再評価し 2018 年を目途にした追加選定、持続的な運営を目指した人材育成やネットワーク組織の構築、SNS 活用やイベントで一般市民を巻き込み次世代のファンを作ることを優先課題として提案します。







報告３ ― STV「1×8 いこうよ！」で北海道遺産特集が放送されました！

STV 札幌テレビ放送の「1×8 いこうよ！」（日曜日 16：55 ～放送）で、北海道遺産特集が放送されました。

北海道の未知なる魅力を発掘する「1×8Ｄｉｓｃｏｖｅｒｙ」の第４弾として、大泉洋さんと大家アナウンサーが２月 21 日～３月６日の全３回にわたり、札幌時計台、北海道開拓の村、江別のレンガ工場を訪れて北海道遺産に親しみました。

第１回目の放送では当協議会石森会長と事務局が、大泉さん大家さんに北海道遺産の概要を説明。大泉さんの故郷である江別市の「江別のれんが」が北海道遺産に選定されていることについて、大泉さんが「僕のひと声で」と胸を張ると「大泉さんの推薦で」と石森会長も冗談を交わし、楽しい雰囲気で北海道遺産を紹介することができました。

そして、「１×８Ｄｉｓｃｏｖｅｒｙ～北海道遺産～」第２弾のお知らせです！

４月３日（日）からは、今、新幹線延伸で話題の多い函館が舞台です。西洋文化の影響を受けた和洋折衷の建築物が今も残る函館西部地区の街並みや、函館山、五稜郭を訪れ、普段見ることのできないところも見学されたようですよ。

こうご期待！

●STV 札幌テレビ放送「1×8 いこうよ！」WEB サイト
→http://www.stv.ne.jp/tv/yoyo/index.html

おでかけガイド ― 北海道遺産・ムラの宝物関連イベントなど

「松前藩屋敷」オープン（松前町）

昨年１１月から閉館していた「松前藩屋敷」が、３月 19 日（土）から臨時開館しています。
正式オープンは４月 10 日（日）です。
閉館期間中にお色直しを終え、今年 25 周年を迎える松前藩屋敷。本格的な着付体験（有料）も大変人気です。

●問合せ：松前藩屋敷（TEL：0139-43-2439）または、松前観光協会（TEL：0139-42-2726）

函館西部地区 2016 春のバル街（函館市）

函館西部地区を舞台とした「函館西部地区バル街」は、函館を代表する食のイベント。
今年で 25 回目の開催となります。
５枚つづりのチケットとマップを手に西部地区の飲食店を飲み食べ歩き、まち歩きを楽しんでみませんか。

●日にち：2016 年４月 22 日（金）
●問合せ：函館西部地区バル街実行委員会
（レストラン バスク内）
TEL：0138-56-1570
詳しくはＨＰへ→http://www.bar-gai.com/

札幌農学校第２農場　一般公開は４月下旬から（札幌市）

北海道大学構内にある、札幌農学校第２農場は毎年春（４月 29 日ごろ）から秋（11 月３日ごろ）まで一般に公開されています。公開施設は模範家畜房（モデルバーン）と穀物庫（コーンバーン）など。
緑が鮮やかになる季節です。都心に近い緑のキャンパス北海道大学でお散歩はいかがでしょうか。

●問合せ：北海道大学総合博物館　TEL：011-706-3607
詳しくはＨＰへ→http://museum-sv.museum.hokudai.ac.jp/exhibition/modelbarn/

お知らせ ― スマートフォン向けアプリ「北海道遺産 navi」バージョンアップ

北海道遺産についての紹介とナビ機能を実装したスマートフォン向けアプリ「北海道遺産 navi」が、新機能を備えてアップデートしました。

夏のアプリイベントでは５枚だった選定地フラッグが、52 件すべてゲットできるようになりました。

アプリで紹介している見学スポットに行き、スマートフォンからアクセスすると、アプリの画面上に北海道遺産選定地の旗のアイコンを集めることができます。

ぜひ新バージョンの北海道遺産 navi をオトモにおでかけください！

※アプリは右記 URL、QR コードからダウンロードできます。



北海道遺産フラッグ、
あなたは何個ゲット！？

■アプリ DL 用紹介ページ
http://www.hokkaidoisan.org/app/

■アプリ DL 用 QR コード

事務局だより

事務局から ― パンフレットを設置しませんか！

北海道遺産の選定地はもちろん、道内の観光関連施設等で北海道遺産のパンフレットを設置いただける箇所がありましたらぜひご連絡ください。

近年、海外の観光客の方々も増えていますが、北海道新幹線開通を機会に国内観光客も増加傾向が予測されます。

この機会に北海道内を十分に周遊するヒントとして手にとっていただき、北海道遺産が繰り返し北海道を訪れる楽しみのもとになってもらえたらと思います。

パンフレットのご用命はこちら
→北海道遺産協議会事務局 TEL：011-218-2858
E-meil：info@hokkaidoisan.org



▲北海道遺産パンフレット（サイズは A5 版です）

★編集後記★

３月…。事務局はバタバタと年度末の作業に追われておりましたが、やっぱり気になるのは北海道遺産地域の情報！

facebook 等でシェアしたり、新聞・ニュースで皆様の近況を拝見しています。

新しい年度も地域の皆様の近況をチェックしながら、ひとりでも多くの活動団体の皆様と出会える１年であるようにと期待して事務局生活を送りたいと思います！

NPO 法人 北海道遺産協議会
〒０６０－００４１
北海道札幌市中央区大通東２丁目３番地１ 第３６桂和ビル７階
（札幌市営交通地下鉄東西線バスセンター前駅・５番出口直結）
ＴＥＬ：０１１－２１８－２８５８　ＦＡＸ：０１１－２３２－４９１８　E-mail：info@hokkaidoisan.org